

(別紙5)

整理番号 2018P-124

補助事業名 平成30年度 お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 社会福祉法人パール

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

急速に高齢化が進むなかで、認知症高齢者の増加、核家族化の進行や家族の介護機能の低下等による、高齢者・障がい者等の生活・介護の課題の解消を目的とし、

- ①介護や生活環境、心身の問題等で悩んでいる方の負担を減らす
- ②住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続ける事ができるよう地域で協力してサポートする。

(2) 実施内容

1. 相談事業

電話相談…電話での専門相談員による相談。

面接相談…実際に来所者していただいた面接相談。

専門相談…医師、看護師、弁護士、学識経験者等による相談。

2. パールライフ/毎週月曜～金曜に高齢者の居場所を提供。

理学療法士や機能訓練指導員、太極拳講師による健康体操・転倒予防など。

コーラス・書道・茶道・俳句・英語・日本画・健康麻雀・映画鑑賞など日替わりでプログラムを提供。施設を開放する。



太極拳体験



茶道教室

(別紙5)

3. 介護予防教室/隔週土曜日に開催。

バイタルチェック、理学療法士による骨折予防トレーニングを行い、栄養士による栄養レクチャー、季節ごとの創作活動・レクリエーション・頭の体操などを行なう。



理学療法士による健康体操



レクリエーション

4. 小冊子作成

寄せられた相談内容を事例報告書として冊子を作成。同じ悩みを抱えて苦しんでいる方やそのご家族方に参考にしていただくため、また、事例集をきっかけに抱え込んでいた悩みの解消・改善の方法等をお示しする。

2 予想される事業実施効果

今後ますます増加する介護の課題に対し、公的外サービスの需要はますます増加すると予測されます。未だ表に出ていない、多岐に亙る高齢者や地域の諸問題、個人で抱えている課題を解消し、生きがいつくりや社会参加のための拠点として居場所や相談窓口があるという事自体が、孤独や引きこもりを防ぎ、住み慣れた地域で安全に安心して暮らせる社会創りに効果があると考えます。

また、地域において、地域住民・行政・福祉団体など、様々な機関がどの様に支え合うことが必要か、高齢者や障がいのある方たちをどの様に理解し合い、共生する事が出来るかを考えるきっかけとなると考えます。

3 補助事業に係わる成果物

- (1) 補助事業により作成したもの
なし(作成中)

(別紙5)

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人パール (シャカイフクシホウジン パール)

住 所： 〒150-0035

東京都渋谷区鉢山町3番27号

代 表 者： 理事長 新谷 弘子 (シタニ ヒロコ)

担 当 部 署： 社会福祉活動教育研究所 (シャカイフクシカクドウキョウイクケンキョウジョ)

担 当 者 名： 成松 明日香 (ナリマツ アスカ)

電 話 番 号： 03-5458-4811

F A X： 03-5458-4817

E - m a i l： jimu@shibuya-pearl.or.jp

U R L： <http://www.shibuya-pearl.or.jp/>